

新潟県立大学大学院国際地域学研究科

令和 7 年度(2025 年度)10 月入学・令和 8 年度(2026 年度)

一般選抜

指定される問題について、適宜文献を引用しながら小論文を作成してください。使用言語は日本語と英語のどちらでもよい。ただし、日本語の場合は 5,000 字程度、英語の場合は 2,500 語程度で記述すること。

Write a research essay about the following topic. Include a list of references at the end of your essay. You may write in English or Japanese. Please choose the language you are more comfortable in. If you choose to write in Japanese, the essay should be about 5,000 characters. If you choose to write in English, the essay should be about 2,500 words.

留意事項

- ・ 小論文は文章作成ソフトで作成し、印刷したものを出願時に提出すること（Email での提出は不可）。手書きの原稿は認めない。
- ・ 小論文の様式は任意。ただし、A4 またはレターサイズの白色用紙使用のこと。
- ・ 氏名を小論文の全ページの右上に明記すること。
- ・ ページ番号を小論文の全ページの下中央に明記すること。
- ・ 小論文の末尾に参考文献を必ず明記すること。参考文献の字数／語数は、小論文の字数／語数に計上されない。なお、APA、シカゴスタイルなどの適切な書式で参考文献を表示すること。

Instructions for essay submission

- ・ Your essay should be typed and printed. Handwritten essays will not be accepted. The essay must be included in your application materials. Essays sent through email will not be accepted.
- ・ There are no rules for formatting. Use either A4 or letter size white paper for printing.
- ・ Include your name at the upper right corner of each page of your essay.
- ・ Include page number at the bottom center of each page of your essay.
- ・ Include a list of references at the end of your essay. The number of characters/words of references will not be counted in the total number of characters/words of the essay. You are advised to follow major citation styles, such as the Chicago and APA styles.

問題

冷戦終結後、地域・民族紛争が頻発したものの、国家対国家による伝統的な戦争は影を潜めた。しかし、2020 年代に入り、ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルのガザ侵攻など、国家による武力の行使が垣間見られるようになった。中国による現状変更行動も南シナ海で観察されるようになり、安全保障状況は緊張が高まっている。一方、冷戦終結後、自由貿易は加速度的に拡大し、国家間の経済的相互依存も深化したが、これまで自由貿易を牽引してきた米国は、産業政策を導入し高関税を賦課しようとするなど、WTO が支えてきた自由経済に背を向けつつある。世界は、経済、安全保障両分野において、新たな課題に直面することとなった。

以上の前提を踏まえて以下の質問から一つ選び論じなさい。

1. インド太平洋では米中対立が耳目を集めている。中国による台湾進攻の蓋然性が高まっていると懸念する声もある。中国の増大する軍事力を見据え、米国は、同盟国や友好国と安全保障上の関係を深化させている。こうした中国包囲網ともいえる米国中心のネットワークが地域にもたらす効果、および弊害は何か。文献を引用しながら述べなさい。

2. 冷戦後、世界的に経済的相互依存が深化し、友好国と言えない国との経済的な依存関係も深化した。友好国ではない国（どちらかというと敵対している国）との相互依存関係は、どのような課題をもたらすのだろうか。また恩恵は何だろうか。世界に広がるサプライチェーンの流れを踏まえて、論じなさい。論じる際には、論文やデータを使用すること。

3. 冷戦後、米国はリベラルな秩序を維持・拡大することを目指してきた。しかし、ロシアや中国の台頭、ロシアのウクライナ侵攻に対するグローバルサウス諸国の反応に鑑みると、リベラルな国際秩序は揺らいでいるといえよう。なぜ、民主主義、人権、自由貿易などに基づくリベラルな秩序は、西側諸国が期待するほど広がらないのだろうか。文献を引用しながら述べなさい。